

2003 年度「レイティング/フィルタリング連絡協議会」第 1 回研究会議事録

1. 日時・場所

日時：2003 年 7 月 11 日（金）17:30～19:50

場所：虎ノ門パストラル本館 8 階「みずき」

2. 参加者

座長 清水康敬（国立教育政策研究所 教育研究情報センター長）
委員 磯野 爽（札幌市 PTA 協議会顧問）
高橋邦夫（千葉学芸高校 校長）
別所直哉（ヤフー（株） 法務部部長）
山下康史（ニフティ（株） 法務部シニアスペシャリスト）
* 松沢委員（ニフティ（株）法務部課長）代理
森本敏男（アルプスシステムインテグレーション（株）システム商品部）
* 小河原委員（アルプスシステムインテグレーション（株）常務取締役）代理

オブザーバー

中溝和孝（総務省総合通信基盤局消費者行政課 課長補佐）
牧内勝哉（経済産業省商務情報政策局情報プロジェクト室長）
南澤正孝（経済産業省商務情報政策局情報政策課 課長補佐）
大崎博美（警察庁生活安全局少年課保護対策係長）
* 木岡氏（警察庁生活安全局少年課保護対策室長）代理
山本隆夫（大阪府生活文化部子ども青少年課 総括主査）
* 山中氏（大阪府生活文化部子ども青少年課長）代理
池田 周（大阪府生活文化部子ども青少年課 主事）
清水 昇（慶應義塾大学 SFC 研究所 研究員）
藤井尚夫（インターネット倫理機構）
岸原孝昌（モバイル・コンテンツ・フォーラム 事務局長）

事務局

国分明男（（財）インターネット協会 副理事長） 他 5 名

3 . 配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 座席表 RF 研 2003-01-1
- ・ 委員・オブザーバー名簿 RF 研 2003-01-2
- ・ 前年度第 3 回フィルタリング研究会議事録 RF 研 2003-01-3
- ・ 本年度の研究会活動予定について RF 研 2003-01-4
- ・ 国内・国外動向 RF 研 2003-01-5
- ・ SFS ブラウザ紹介ページ RF 研 2003-01-6
- ・ SFS / ラベルビュー口の運用形態について RF 研 2003-01-7

4 . 議事概要

(1) 牧内氏のあいさつ

- ・ 経済産業省牧内氏より、当研究会のメンバーに対してあいさつを行った。

(2) 委員・オブザーバー自己紹介

- ・ 当研究会に出席の各委員・オブザーバーより自己紹介を行った。

(3) 本年度の研究会活動予定について

- ・ 事務局より、資料 RF 研 2003-01-4 に従って本年度の研究会活動予定について説明を行った。

(4) 国内・国外動向についての説明

- ・ 事務局より、資料 RF 研 2003-01-5 の内容の説明を行った。

(5) 携帯電話フィルタリング機能のデモとオープンフォーラム追加機能の説明

- ・ 事務局より、PC 及び資料 RF 研 2003-01-6 を使用して、携帯電話フィルタリング機能のデモおよびオープンフォーラムの追加機能の説明を行った。携帯電話フィルタリング機能についての質疑応答は以下の通り。

委員：インターネット協会のサーバのみで実現しているのか。NTT ドコモのサーバは使っていないのか。

事務局：その通りだ。モバイル SFS はインターネット協会のサーバ上にある。将来的には標準ブラウザに実装したい。現在はモバイル SFS がフィルタリングを行っている。携帯電話への実装については、W3C とも技術協力を行っていく。

委員：今回のシステムは完全にデモか。

事務局：携帯電話では PICS2.0 で XML 対応しないとリソースが厳しい。

委員：中高生が同時に使うことはできるか。

事務局：現在は同時 200 くらいが限度である。

委員：実用化にはどれくらいかかるか。

事務局：次世代携帯電話は XHTML になっている。それを拡張する形で W3C が規格を決めて携帯電話会社の実装する。規格を決めるまで時間がかかる。規格が決まったら半年程度と思う。

オブザーバー：携帯電話には組み込めないのか。

事務局：プログラム自体は携帯電話で実際に動作している。モバイル SFS の機能も携帯電話に組み込むとなると、現状の PICS1.1 では無理なため、時間がかかる。

オブザーバー：モバイル SFS の機能はプロキシ機能か。

事務局：その通り。

オブザーバー：プロキシ経由でインターネットにつながるのか。

事務局：その通り。

委員：今実際にダウンロードしてみたが、パスワード機能がないので、子どもが設定を変更できてしまうのではないか。

事務局：現在では、SFS ブラウザをダウンロードしても、標準ブラウザも使用できてしまう。

オブザーバー：フィルタリングはサーバタイプのフィルタリングが主流になっている。ブラウザタイプとなると、ブラウザのバージョンや機種が変わると対応しなければならぬ。SFS ブラウザにしたのは何故か。

事務局：PICS という技術を使用するためにこの方式にしている。携帯電話の標準ブラウザに PICS アクセス機能があれば、SFS ブラウザは必要ない。

オブザーバー：クライアントタイプの方がエンドユーザ側でレベル設定をできるメリットがある。

オブザーバー：携帯電話の ID を用いれば、レベル分けはサーバ側でもできる。

オブザーバー：携帯向けのサイトと PC 向けのサイトは違う。レイティングのデータを作るのは大変だと思うがどうか。

事務局：携帯電話サイト向けの検索エンジンを使う案、または携帯電話のエミュレーションソフトを使う案などがある。キャリアの囲い込みのサイトは難しい。囲い込みサイトについては NTT ドコモなどの協力が必要である。

オブザーバー：携帯電話サイトのレイティングは実際に行っているのか。

事務局：デモ用にしか行っていない。現在はキーワードフィルタリング機能が有効でかなりフィルタリングされる。

オブザーバー：実運用はどうするのか。

事務局：SFS ブラウザを使用する場合は、携帯電話の標準ブラウザを使用できないよう

にしないといけない。

オブザーバー：ISP レベルでフィルタリング設定を行えば使うことができる。

オブザーバー：携帯電話会社が行う必要があるのか。それともサードパーティで可能か。

オブザーバー：iモードはゲートウェイがオープン化されているので、サードパーティで可能である。

オブザーバー：そのときのブラウザはどうか。

オブザーバー：iモードボタンを押したときの接続先を、NTT ドコモではなく ISP に変えれば良い。

オブザーバー：SFS ブラウザは要らないのか。

オブザーバー：ISP がゲートウェイを用意するにはコストが非常にかかる。現在は NTT コミュニケーションズ他 2 社が商用ベースであるのみである。ISP が増えない理由は、NTT ドコモが高い卸売価格を設定しているため、ビジネスになりにくいからである。携帯電話は番号が分かるので認証は可能であり、サーバ側のシステム負荷が一番問題である。

オブザーバー：実運用に向けて、次のストーリーはどのように考えていけば良いか。

オブザーバー：ISP のフィルタリング料金をどのように設定するかのモデルが必要だ。その場合、ユーザへの普及啓発も必要である。政策的にできるかどうか。

オブザーバー：ニフティとかで ISP を立ち上げて行うのか。

オブザーバー：ゲートウェイがあれば良い。地域 ISP とかキッズ向けの ISP で切替えを進めてもらいたい。

オブザーバー：NTT ドコモの公式サイトに i アプリをのせて、ダウンロードしてもらうのはどうか。

オブザーバー：それよりも NTT ドコモに、SFS ブラウザと同じ仕組み（サーバでのフィルタリング）を採用してもらえばよい。ただしアクセス数が莫大なのでキャリアとしては大変だ。

オブザーバー：地域 ISP などの小規模なサードパーティを積み重ねていった方が現実的だということか。

オブザーバー：その場合、携帯電話の販売店で ISP の設定をしてもらうのが良いかもしれない。

事務局：ゲートウェイのオープン化はキャリアごとに必要である。

オブザーバー：現在は NTT ドコモのみである。

委員：昨年の講演会で挙手してもらったところ、30～40 代の母親の携帯電話所有率は、250 名中 70%だったが、そのうち Web にアクセスできる人は 30%だった。今年の講演会でも同様に挙手してもらったが、Web にアクセスできる人は 66%に増えていた。今後フィルタリングの意識が急速に高まると考えられる。啓発活動を行うにしても、店頭で対応してもらうまでどれくらいかかるか。

オブザーバー：NTT ドコモは公式サイトのみアクセス可能とするサービスを始める。公

式サイトは、有害か否かではなく、ビジネスになるかならないかが判断基準となっている。このことは十分にユーザに伝わっておらず、公式サイトのみアクセス許可は教育上よくないのではないかと危惧する。また、携帯電話の利便性が落ちるデメリットがある。

座長：ドコモにお願いしているのは、教育向け携帯電話（必要最低限の機能のみ実装したもの）を作ってほしいということである。機能限定したものはビジネスとして成り立たないためまだ実現していない。

オブザーバー：教育向け携帯電話とは、学校が持たせるものか。

座長：親が子どもに買い与えるものである。さっきの SFS ブラウザのデモでは、ブロック画面が表示されるので、子どもが有害なものに興味を持つ可能性がある。いかに表示しないかが重要である。

委員：携帯電話会社はもっと社会的責務を果たすべきである。

委員：子どもはインターネットに自由にアクセスできなくて良い。大人になったらやれば良い。ブロックすることが必要な年代もある。

委員：高校生はパケット料金のためにアルバイトや、援助交際までしている。健全な携帯電話が必要だ。カメラつき携帯電話の画像をフィルタリングする必要もある。

オブザーバー：携帯電話会社の肩を持つわけではないが、安全なものを目指すためにアクセス制限を計画している。ただ、各社の基準でアクセス可能リストが決まることに問題がある。利用者の方でも設定できるようにするべきである。その面で、インターネット協会の開発には意義がある。

オブザーバー：公式サイトには政府機関も登録されているのか。

オブザーバー：申請すれば登録されるのではないか。

委員：公式サイトは暫定的なものだ。出会い系サイトのブロックだけを考えれば公式サイトで OK だが、公式サイトにはギャンブル等も含まれており必ずしも安全というわけではない。

オブザーバー：キャリアが決めるとなると検閲に近いものがあるのではないか。第三者機関が基準を作ってリストを提供するようにすべきだ。ブラックリストは完全なものにはなり得ないが、皆から情報を集めて作っていく必要があるのではないか。キャリアに対してブラックリストも検討するよう要請したが、1つでもミスがあるとユーザから責任を問われるので、一部のサイトしか閲覧させないという方式となった。ブロックのミスがあっても、通信事業者の責任ではないことを示す必要がある。

オブザーバー：ドコモは完璧にブロックしないとイケないが、サードパーティだとある程度の漏れがあっても良いということか。

オブザーバー：ブラックリストは 100%ではない。いい加減なもので良いということではないが、社会的に検討する必要がある。

事務局：時間の関係もあるため、このテーマについては別途とし、この辺で次のテーマに移りたい。

(6) SFS / ラベルビュー口の運用形態について

・事務局より、資料 RF 研 2003-01-7 について説明があった。

事務局：この方向性についてご意見をいただきたい。

座長：インターネット協会でのレイティングは続けていくのか。

事務局：徐々にレイティング作業の程度を下げている。最近のインターネットでは、レイティングをいくら頑張っても限界がある。コンテンツ増加にレイティングが追いつかないため、キーワードフィルタリング機能を足しており、かなりの効果があがっている。新しいカテゴリの追加等は必要であるが、現状の方向で急に性能が低下するわけではない。

オブザーバー：既に分散型になっているのか。

事務局：システム的にはなっているが、ラベル更新ツールはまだ 30 件程度しか配布していない。全体のダウンロード数は 6000 件くらいで、実際のユーザ数は 2000 ~ 3000 程度である。

オブザーバー：アスキーソリューションズでは複数の熟練者がレイティングを行っている。1 週間休むとすぐにフィルタ率が落ちてしまう。SFS / ラベルビュー口では、何人くらいのボランティアがラベル更新ツールを使えば実運用できるか。

事務局：レイティングをドメイン単位で割り切って行えば、数百人で可能ではないか。

オブザーバー：ボランティアのマネジメントは何らかの形で必要なのではないか。

事務局：新しいカテゴリのコンテンツへの対応などが必要である。

オブザーバー：ローカル・ラベルビュー口の運営母体は、学校を想定しているのか。

事務局：教育委員会なども想定している。

委員：学校の先生は忙しく、なかなか時間を割けない。また当然、生徒にはやらせられない。

座長：携帯電話も PC インターネットも区別なく、学校教育用のものが必要である。有害情報が絶対に出ては困る場面がある。先生の指導の目的に沿ったコンテンツのみが表示されるようなシステムが必要である。こうした完全に守られた中での教育が必要だ。第二段階として、できるだけ守るというレベルがある。次の段階として、高校では少し有害なものに触れされるようにする。このように段階的に進めることが大切である。家庭は学校とはまた別である。ボランティアで行うということはどこの国でも失敗している。アメリカでは教育向けフィルタリングがビジネスとして成立している。日本ではフィルタリングは無料であるという考え方を変えていかないといけない。運用は各社が協力して分担すればよい。マイクロソフトも分散型ならやる気があると言っている。国からの予算が学校に行った後、ソフトハウスに回るようにする必要がある。ただし啓発も必要である。子どもを守るという意識を学校や先生に植え付けないといけない。

事務局：親も先生もまだパソコンに慣れていない。いろいろな対策を打つ必要がある。

委員：親は問題と必要性がわかれば、フィルタリングについても費用負担するはずだ。

委員：文部科学省から通知がきており、出会い系サイト規制法に関連して、学校でのフィルタリング・ソフトの活用の推進、家庭への普及促進の依頼があった。意識は高まってきている。

(4) 連絡事項等(事務局)

・事務局より、次回の日程について調整を行い、9月26日(金)17:30より商工会館で行う旨の案内を行った。

以上